

岩手県内新入社員の職業観と生活観

－平成 28 年新入社員意識調査より－

標記について概要を取りまとめたので公表いたします。

なお、詳細は機関誌「岩手経済研究」28 年 6 月号に掲載予定です。

<調査要領>

1. 調査時期 平成 28 年 3～4 月
2. 調査対象 岩手県内事業所に勤務（予定含む）する新入社員等
3. 調査方法 当研究所主催の新入社員研修会等における無記名アンケート方式
4. 回答者数 合計 344 人

最終学歴	高 校	専門学校	短 大	大 学	大学院	無回答	総 計
男性	46	37	10	83	8	1	185
女性	65	18	25	46	0	5	159
出身地	県 央	県 南	沿 岸	県 北	県 外	無回答	総 計
男性	99	43	17	7	19	0	185
女性	77	39	26	7	10	0	159

盛岡市中ノ橋通一丁目 2 番 16 号
一般財団法人 岩手経済研究所
理 事 長 高 橋 真 裕
経 営 相 談 部 （ 担 当 岩 渕 ）
TEL 019 - 622 - 1212

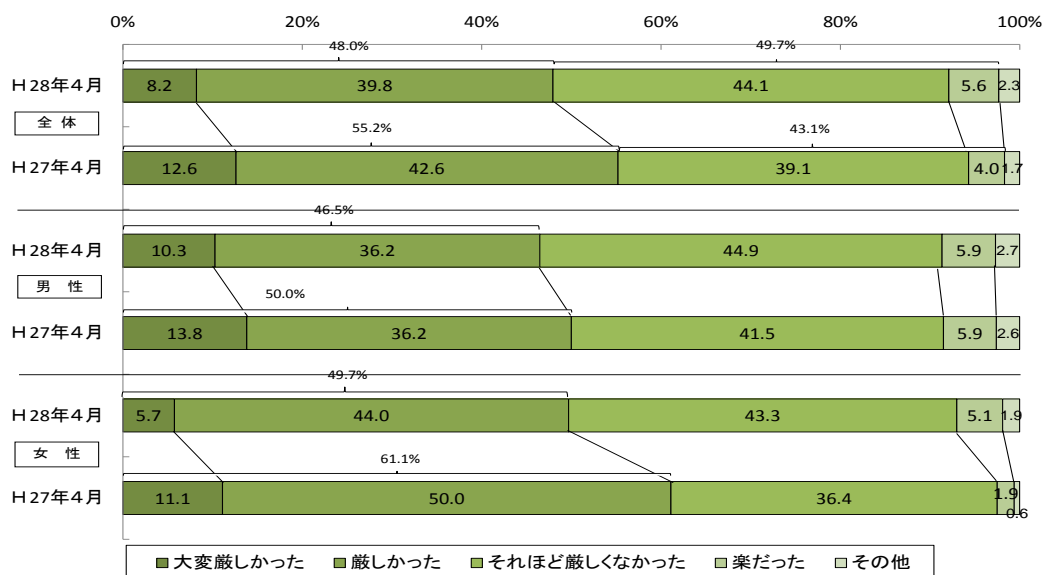
<調査結果の要約>

<就職活動の厳しさは？>

○「就活」の感想は厳しさが和らぐ

就職活動を振り返った感想は、「大変厳しかった」と「厳しかった」（以下、「厳しい」との回答の合計が48.0%（前年比7.2%増）となった。一方、「それほど厳しくなかった」と「楽だった」との回答の合計は全体で49.7%（同6.6%増）と増加して「厳しい」を上回った。特に女性は「厳しい」が前年の6割強から5割弱に大幅に低下しており、売り手市場を反映し、今年の新入社員の就職活動は厳しさが和らぐ結果となった。

就職活動を振り返った感想

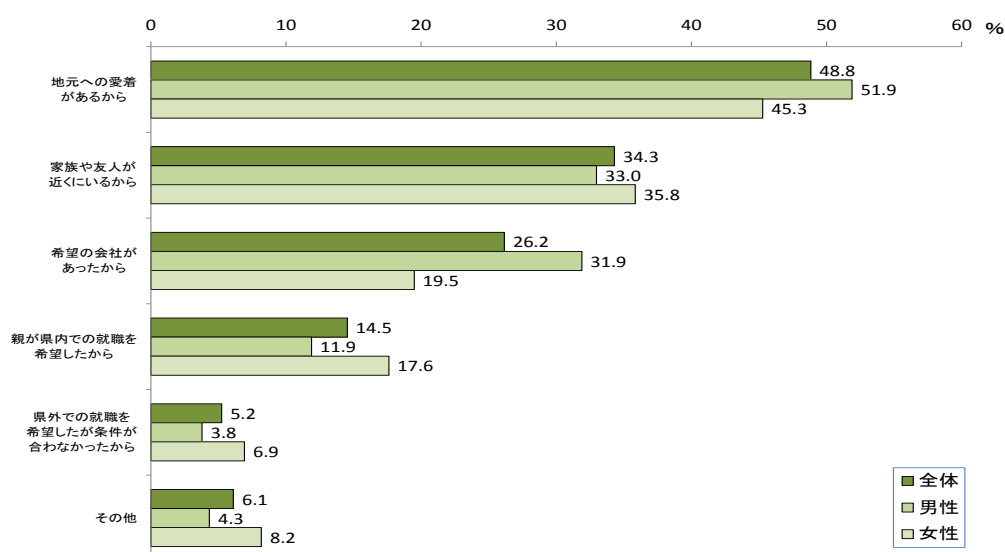


<就職先として県内企業を選んだ理由は？>

○男性は希望の会社の存在の割合が上昇

就職先として県内企業を選んだ理由は、「地元への愛着があるから」が48.8%（同4.5%増）、「家族や友人が近くにいるから」が34.3%（同3.9%増）、「希望の会社があったから」が26.2%（同3.4%増）などの順となった。昨年のアンケートと同様、地元への愛着や家族・友人の存在を理由とする回答が多いが、男性では希望の会社があったとする割合が大きく上昇している（同8.1%増）。

就職先として県内企業を選んだ理由（2つ以内の複数回答）



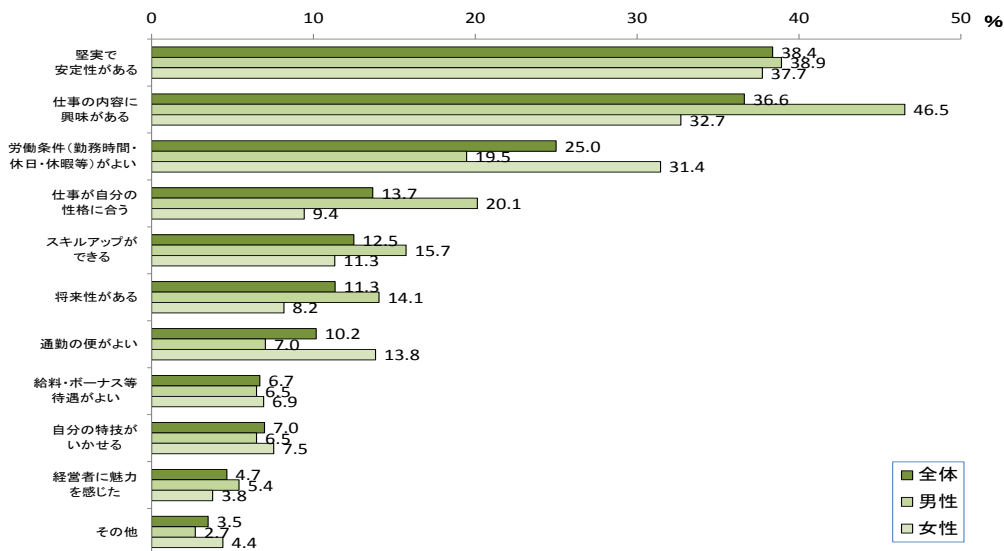
1. 職業観

<勤務先選択の理由>

○堅実性・安定性と仕事の内容を重視

今の勤務先を選んだ理由は「会社が堅実で安定性がある」が38.4%（同2.9ポイント減）、以下「仕事の内容に興味がある」36.6%（同0.7ポイント減）、「労働条件（勤務時間・休日・休暇等）がよい」25.0%（同3.3ポイント増）の順となった。堅実・安定性などは依然高いが、労働条件を重視する傾向が3年連続で上昇している。男性は仕事の内容や適性などを、女性は労働条件や通勤の便などを重視する傾向がみられた。

今の勤務先を選んだ理由（2つ以内の複数回答）

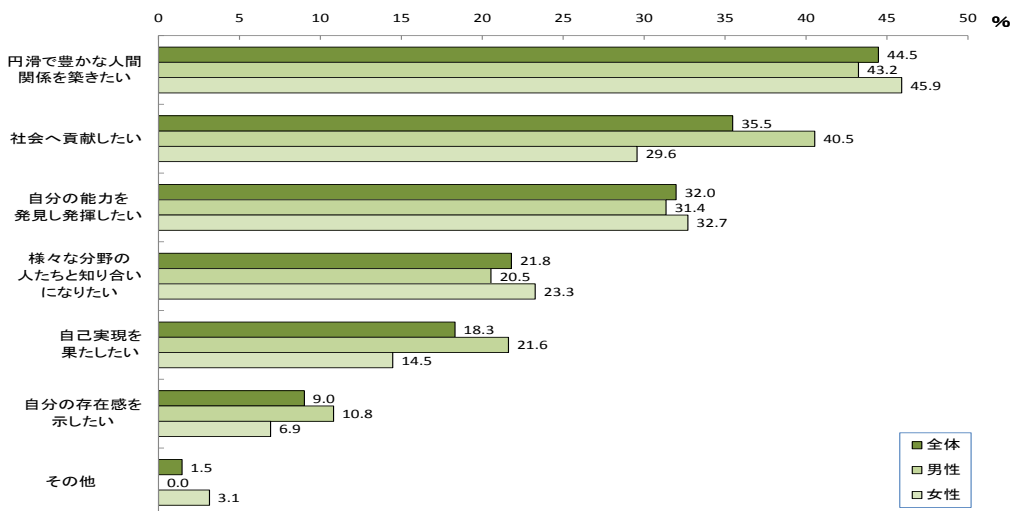


<社会人生活に期待すること>

○円滑で豊かな人間関係と社会貢献

社会人生活に期待することは、「円滑で豊かな人間関係を築きたい」が44.5%（同4.5ポイント減）と最も高く、以下「社会へ貢献したい」35.5%（同3.5ポイント減）、「自分の能力を発見し発揮したい」32.0%（同4.9ポイント増）の順となった。「円滑な人間関係」や「社会貢献」は男性が上昇し女性は低下した。「自分の能力の発揮」については男女とも上昇した。

社会人生活に期待すること（2つ以内の複数回答）

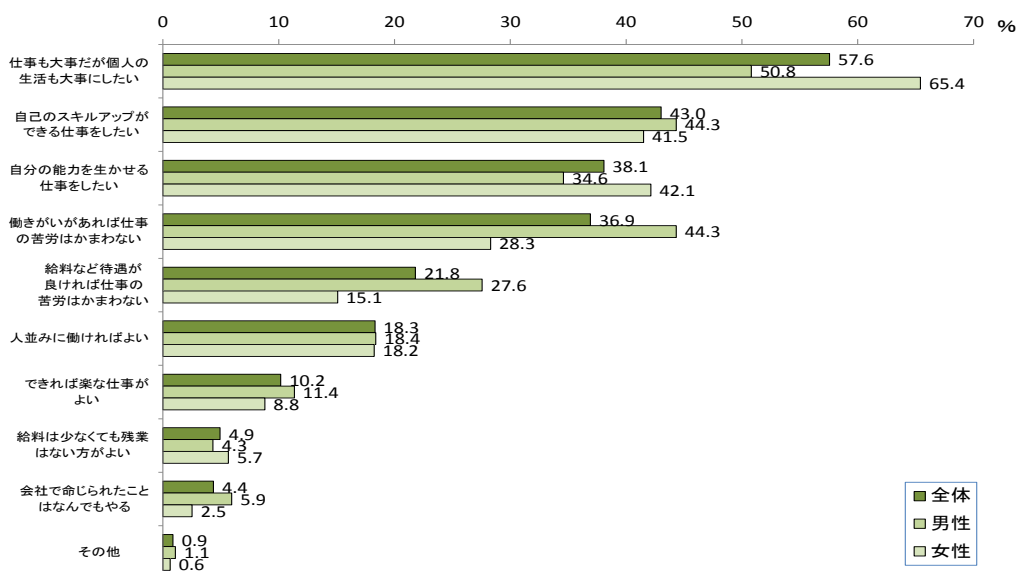


<働くことについての考え方>

○私生活とのバランスとスキルアップ

働くことに対する考え方については、「仕事も大事だが個人の生活も大事にしたい」が57.6%（同5.2ポイント増）と最も高く、以下「自己のスキルアップができる仕事がしたい」が43.0%（同6.0ポイント増）、「自分の能力を生かせる仕事をしたい」が38.1%（同0.8ポイント増）となった。「個人の生活も大事にしたい」とする女性の割合が大幅に上昇したが男性は減少した。「スキルアップができる仕事がしたい」については男女とも上昇した。

働くことについての考え方(3つ以内の複数回答)

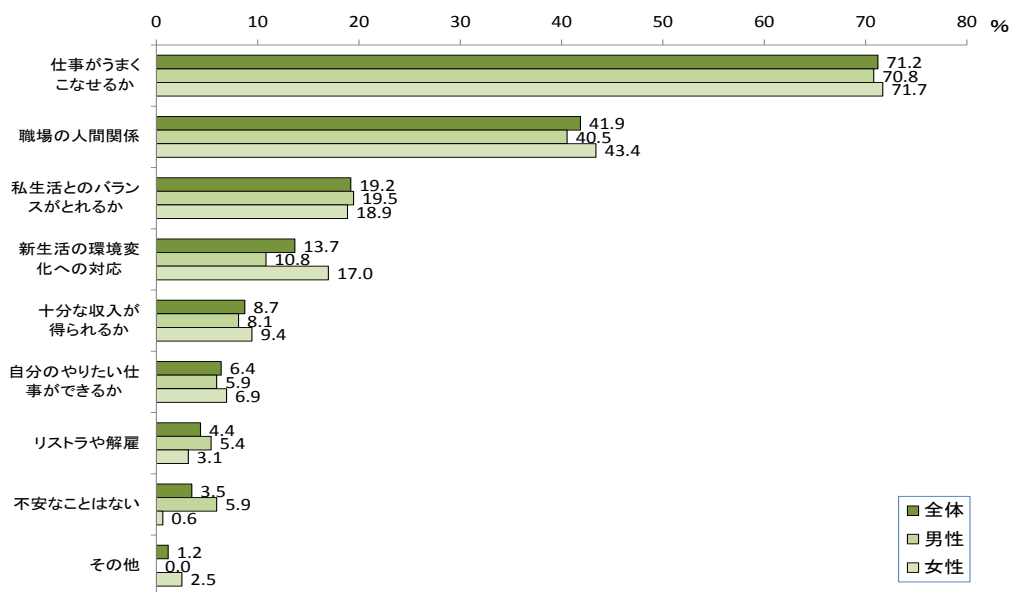


<社会人生活で不安を感じること>

○仕事がこなせるかと人間関係が上位

社会人生活で不安を感じることは「仕事がうまくこなせるか」が71.2%と最も高く、以下「職場の人間関係」41.9%、「私生活とのバランスがとれるか」19.2%となった。男女とも上位二項目が抜き出ている。

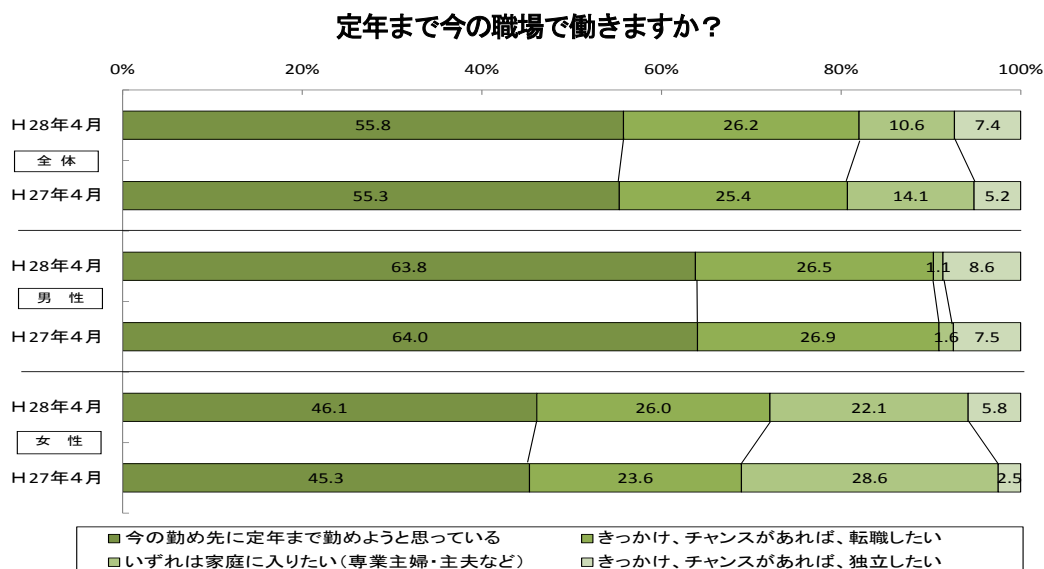
社会人生活で不安を感じること(2つ以内の複数回答)



<定年まで今の勤務先で働くか>

○過半数が今の勤務先で定年まで働きたい

定年まで今の勤務先で働きたいと考えるかについては、「今の勤務先に定年まで勤めようと思っている」が55.8%（同0.5ポイント増）と過半数を占め、以下「きっかけ、チャンスがあれば転職したい」が26.2%（同0.8ポイント増）、「いずれは家庭に入りたい」10.6%（同3.5ポイント減）、「きっかけ、チャンスがあれば独立したい」が7.4%（同2.2ポイント増）となった。

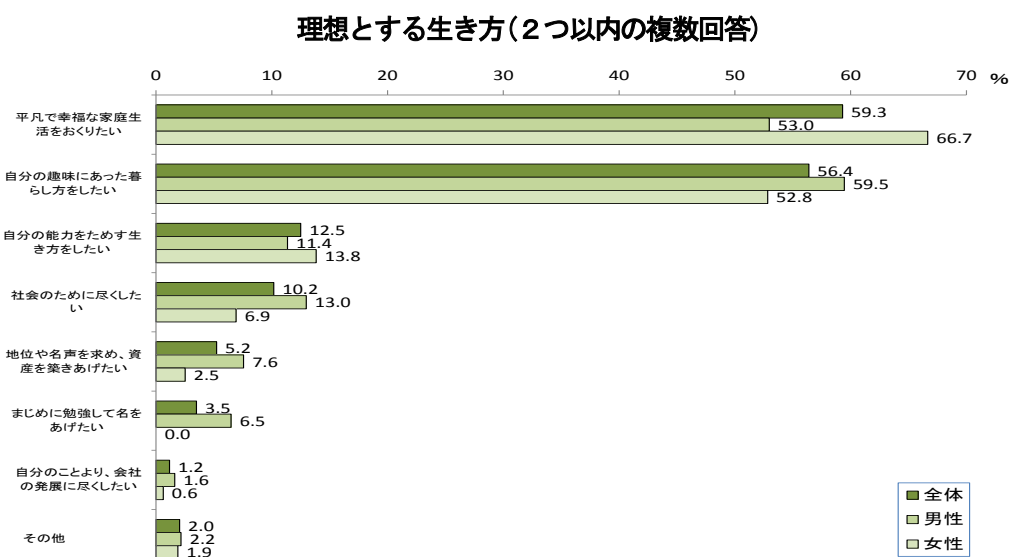


2. 生活観

<理想とする生き方>

○平凡で幸福な家庭と趣味にあった暮らし方

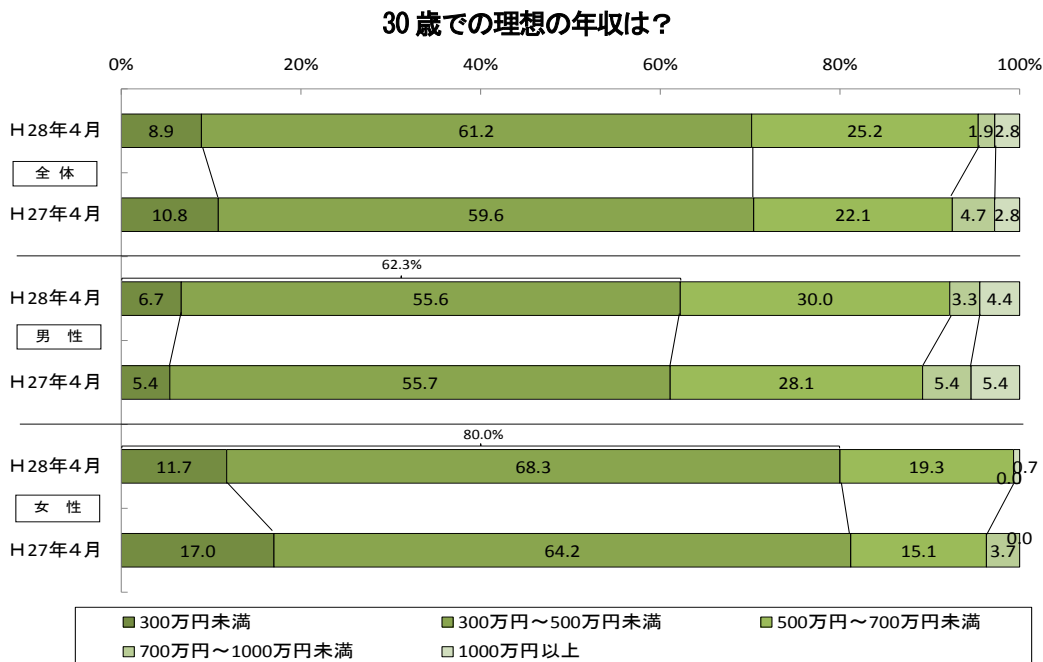
理想の生き方の考えについては、「平凡で幸福な家庭生活を送りたい」が59.3%（同9.1ポイント減）と低下し、「自分の趣味にあった暮らし方をしたい」が56.4%（前年比6.0ポイント増）となった。男女別では、男性は「自分の趣味にあった暮らし方」が「平凡で幸福な家庭生活」を上回り、女性は「平凡で幸福な家庭生活」が「自分の趣味にあった暮らし方」を上回ったが、女性も「自分の趣味にあった暮らし方」が増加している。



<30歳での理想の年収は>

○300万円～500万円未満が約6割

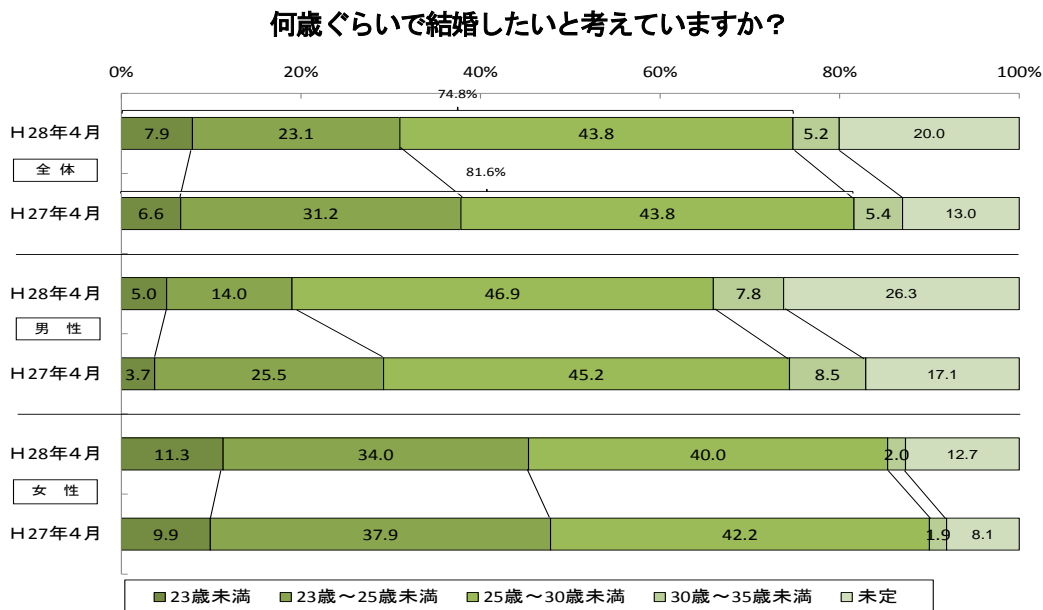
30歳での理想の年収を尋ねたところ、「300万円～500万円未満」との回答が61.2%と最も多く、以下「500万円～700万円未満」が25.2%、「300万円未満」が8.9%となった。男女別にみると「500万円未満」との回答は男性では62.3%であるのに対し、女性では80.2%であり、女性は男性に比べて将来の理想年収が低くなっている。



<結婚について>

○30歳までの結婚希望が減少

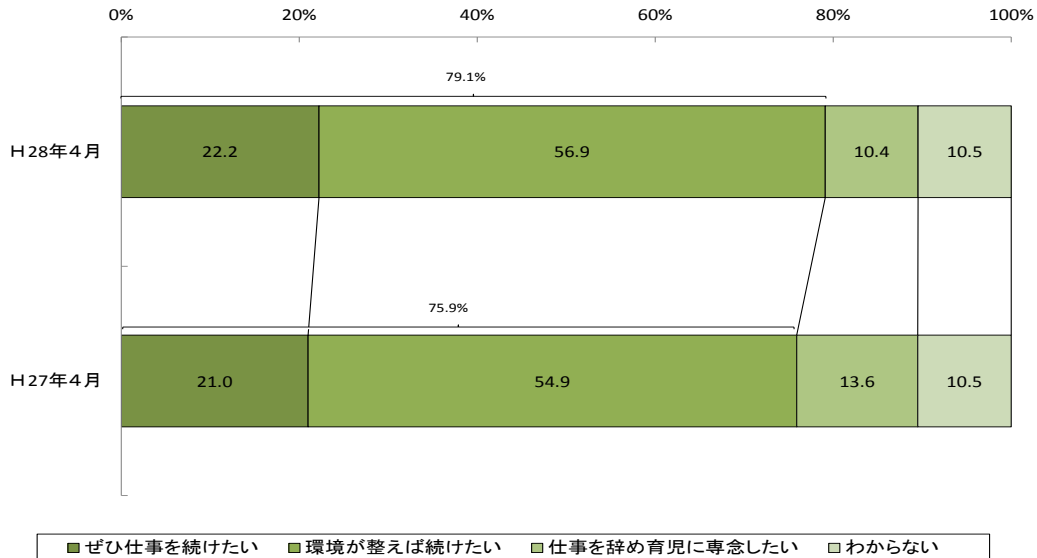
何歳ぐらいで結婚したいかに対し、「25歳～30歳未満」が43.8%（前年と同じ）、「23歳～25歳未満」が23.1%（同8.1%増）、23歳未満が7.9%（同1.3%増）となり、30歳までに結婚したいと考える割合が74.8%（同6.8%減）となった。一方、「30歳～35歳未満」が5.2%（同0.2%減）、「未定」が20.0%（同7.0%増）となった。



○女性の8割が出産後も仕事の継続を希望

女性の回答者に出産後の仕事について尋ねたところ、「ぜひ仕事を続けたい」が22.2%(同1.2ポイント増)、「環境を整えば続けたい」が56.9%(同2.0ポイント増)で、79.1%(同3.2ポイント増)が出産後も仕事の継続を希望している結果となった。1億総活躍社会を目指す中、県内の新入女性社員の就業意欲も強まっており、女性が働きやすい環境整備に社会全体で取り組む必要がある。

出産後の仕事の継続(女性に対し)



まとめ

調査結果から、今年の新入社員は仕事と生活のバランスをとりながらも、仕事を通じて自分のスキルアップに努め、能力を発揮し社会に貢献していきたいという意欲を持っていることがわかる。

生活については平凡ながら趣味に合った暮らし方を希望する割合が高まっている。結婚については、30歳までの結婚希望が減少し、特に男性は結婚の目標年齢を決めていない割合が上昇したが、出生率向上のためにも早めの世帯形成を促したいところである。女性の多くは出産後も仕事の継続を希望するなど、社会への進出意欲が高くなっており、子育ての支援体制の充実が必要となっている。

また、職場でうまく仕事をこなせるか、職場に溶け込めるかなど、実際の仕事を目の前に不安も抱いている。少子高齢化社会を迎え労働力人口が減少する中、若手の早期戦力化による生産性向上が求められており、職場の先輩諸氏におかれては、新入社員が不安を解消し思う存分力を発揮できるよう、成長に向け厳しくも温かい指導をお願いしたい。

以上